

大泉町環境基本計画



ZERO carbon city

©IZUMI

2024(令和6)年3月
大泉町

はじめに



本町は、群馬県の東南に位置し、地形は平坦、面積は 18.03 平方キロメートルと、県内で一番小さな町ですが、北関東でも屈指の製造品出荷額を誇る一方、いずみ緑道などの公園や街路などの都市施設整備を積極的に進め、美しい都市景観を有しています。

環境問題は、地球温暖化の影響による気温の上昇や集中豪雨・山火事の増加、大気・水質・土壌汚染や廃棄物の問題、生物多様性の保全、海洋プラスチックごみ問題等、身近なものから地球規模に至るものまで、さまざまなレベルで顕在化しており、近年では、地球環境をめぐる社会情勢に大きな変化として、持続可能な社会に向けた SDGs やカーボンニュートラルの達成に向けた動きが加速しています。本町においても、令和元年東日本台風による被害をはじめ、気温上昇による熱中症や豪雨被害など、気候変動を中心に問題が顕在化しており、町民の暮らしを脅かしています。

こうした流れを踏まえて、本町では 2020(令和 2)年 7 月には加盟する「廃棄物と環境を考える協議会」として「ゼロカーボンシティ宣言」の表明や、2021(令和 3)年 3 月に「大泉町環境基本条例」を制定するなど、町の良好な環境の保全及び創造に向けた基盤づくりに取り組んできました。

そしてこの度、地球温暖化や資源循環への対策、生物多様性の保全など、様々な環境問題の解決に向け包括的に対処し、持続可能なまちづくりを目指すため「大泉町環境基本計画」を策定いたしました。今後は、目指す環境像に掲げた「環境を守り育む 活力と魅力あふれるまち おおいずみ」の実現に向けて、尽力してまいります。

環境問題の解決には行政の力だけでは到底及ばず、町民・事業者の皆様のご取組が極めて重要となります。本計画が皆様にとって、環境問題への理解や関心を深め、行動するきっかけとなれば幸いです。本町といたしましても、今後も地域における環境問題への取組を着実に推進してまいりますので、皆様のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました町民の皆様及び熱心なご審議を賜りました大泉町環境審議会委員の皆様に、心からお礼を申し上げます。

2024(令和6)年3月

大泉町長

羽山俊明

目次

第1章 計画の基本的な考え方	1
1 計画策定の背景.....	2
2 計画の目的と位置付け.....	4
3 計画の期間.....	5
4 計画の対象範囲.....	5
5 計画の推進主体.....	6
第2章 大泉町をとりまく環境と課題	7
1 環境をめぐる社会の動き.....	8
2 大泉町の環境.....	16
3 大泉町の環境に関する意識調査結果の概要.....	31
4 大泉町の課題.....	39
第3章 目指す環境像と施策	41
1 目指す環境像.....	42
2 施策の体系.....	44
3 「環境像」達成に向けた取組.....	46
分野別目標1 レジリエントでカーボンニュートラルな社会を実現する.....	46
分野別目標2 地域資源の循環利用によるゼロエミッションを実現する.....	55
分野別目標3 自然を未来につなげ、共生する社会を実現する.....	60
分野別目標4 安心して快適な暮らしを持続する.....	65
分野別目標5 環境をきっかけにつながる協働の輪を創造する.....	69
第4章 重点施策	73
「環境」をキーワードにした地域団結力の向上.....	74
第5章 推進体制	77
1 計画の推進体制.....	78
2 計画の進行管理.....	79
参考資料	81
1 大泉町環境基本条例.....	82
2 大泉町環境審議会委員名簿.....	86
3 計画策定経過.....	88
4 温室効果ガス排出量の算定方法.....	89
5 用語解説.....	90

本文中に*が付いている語句は、用語解説に語句の解説を記載しています。